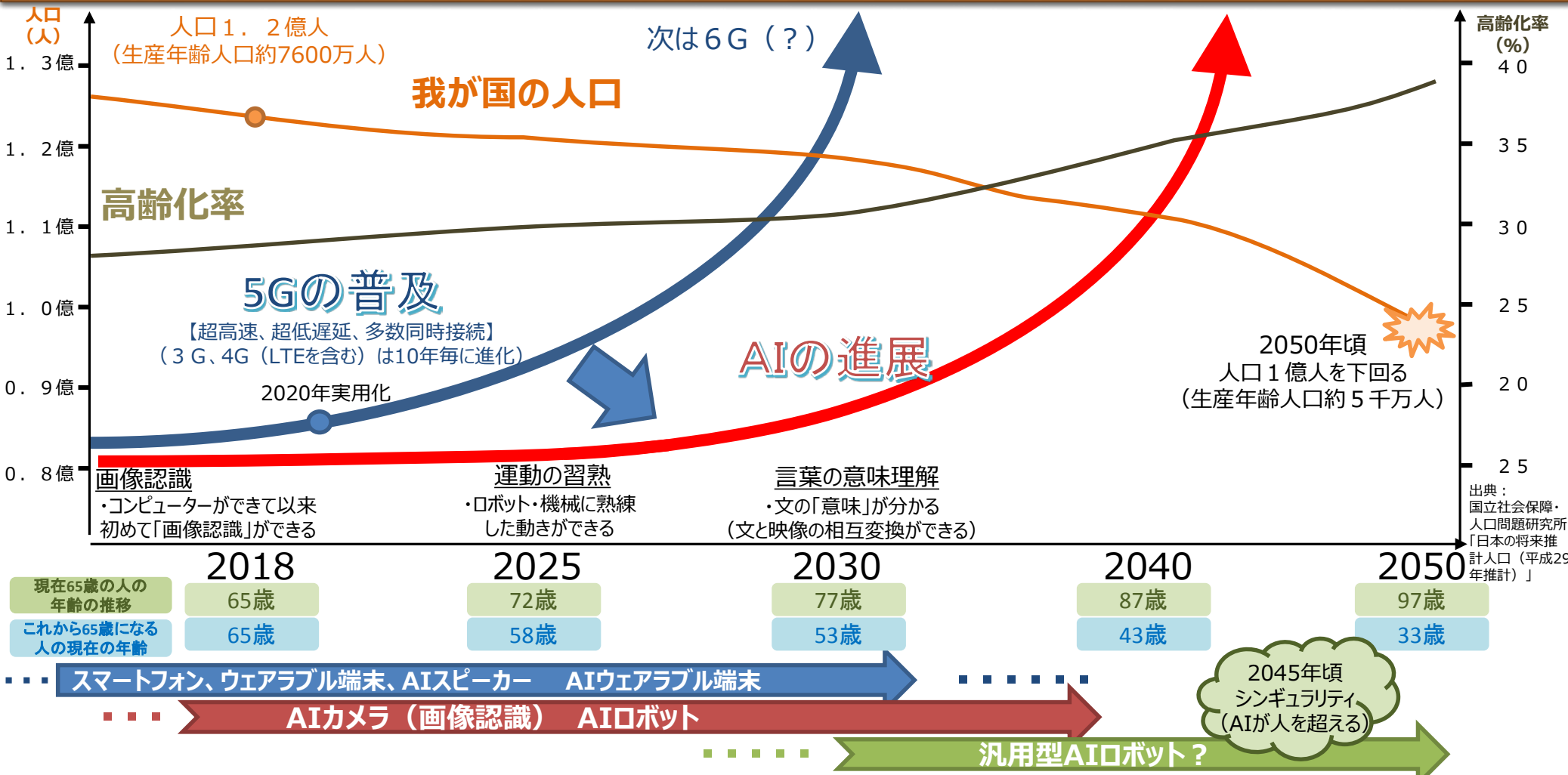


# 2040年頃までのICTの発展イメージ



出典：  
国立社会保障・人口問題研究所  
「日本の将来推計人口 (平成29年推計)」

**仕事** 今後10~20年程度で米国の総雇用者の約47%の仕事※が自動化されるリスクが高い (2013英オックスフォード大学マイケル・アズボーン論文「雇用の未来」より)  
 ※銀行の融資担当者、不動産ブローカー、レストランの案内係、保険の審査担当者、電話オペレーター、給与・福利厚生担当者、レジ係、娯楽施設の案内係、チケットもぎり係、集金人、パリーガル、弁護士助手、時計修理工、税務申告書代行者、データ入力作業員、簿記、会計、監査の事務員、義歯制作技術者 等

人間のための仕事は単なるものではなく「価値創造性」のあるものを中心に、これからのICT教育のあり方 (現在はプログラミング)

**日常生活** 自動化できるものは全て自動化 (高齢者、障害者等がこれまでできなかったことが可能になるとともに、ICT機器の利活用にかかる支援が必要)

一方、自動化が進むと逆に

- AIへの過度の依存 (AIにだまされる)
- 身体能力、認知機能の低下
- 人と人とのつながりの希薄化

→

- AI倫理等
- 身体能力、認知機能の維持
- 地域コミュニティの新たな形の創造